

なるほど！つみたてNISA 第7回

2017年10月5日

全2頁

投資対象を幅広く分散させよう

インデックス投資信託の活用

金融調査部 研究員 是枝 俊悟

先取り貯蓄で貯めるお金を使って投資信託を購入していく場合、どのような投資信託を選べばよいのでしょうか。インデックス投資信託を購入すると、幅広い投資対象に投資することでリスクを抑えて安定的なリターンを確保しやすくなります。

どのように投資信託を選べばいい？

前回説明した通り、投資信託はたくさんの人から集めたお金をひとつにまとめて投資をするものですので、投資信託を利用すれば月1万円や2万円からでも株式・債券・不動産などに投資することができます。

実際にどのような株式、債券、不動産などを購入するのかは投資信託ごとに特色があり、それにより投資信託の運用の成果も左右されます。では、先取り貯蓄で貯めるお金を投資信託で運用する場合、どのように投資信託を選べばよいのでしょうか。

世の中が注目しているテーマに関連する株式や、現在の利回りが高い債券、不動産価格の上昇が想定される国の不動産などに投資を行う投資信託を選べば高い収益を期待できるのではないかと考える人もいるかもしれません。このように、その時々を経済環境やマーケットの関心に焦点を当て有望と考えられる投資対象（投資テーマ）に集中投資する投資信託を**テーマ型の投資信託**といいます。これまで実際に、証券会社や銀行などで多く販売され、日本で「売れ筋」となってきた投資信託には、テーマ型の投資信託が数多くありました。

しかしながら、その時々で有望と考えられる投資テーマは移ろいやすく、売れ筋の投資信託は頻繁に入れ替わってきました。先取り貯蓄で貯めるお金の一部を使って毎月投資信託を購入していくことを考えると、数か月や年に一度などの頻度で購入する投資信託を見直すのは面倒で、できれば一度決めたらしばらくは継続的に購入できる投資信託を選びたいものです。

どの投資テーマが有望かを事前に判断することは、（少なくとも初めて投資を行おうとする人にとっては）とても難しいものです。加えて、テーマ型の投資信託は1つの投資テーマの盛衰に投資の命運を委ねる形となるため、投資の成果（損益）の振れ幅は大きくなりがちです。テーマ型の投資信託は、先取り貯蓄で貯めるお金の一部を使った運用にはあまり向いていないものと考えられます。

幅広い投資対象に投資すればよい

では、先取り貯蓄で貯めるお金の一部を使った運用に向いている投資信託はどのようなものでしょうか。それは、テーマ型の投資信託の逆を考えてみればよいでしょう。例えば株式についていえば、投資すべき対象を1つの国や特定の業種に絞り込むのではなく、いろいろな国のあらゆる業種の株式をまんべんなく買えばよいのです。

幅広い投資対象に投資を行う場、**インデックス**（指数）を利用すると便利です。インデックスとは市場全体の値動きを数値化したものです。

例えば、新聞やテレビのニュースなどでよく目にする**日経平均株価**は、日本の株式市場のインデックスの代表例で、日本を代表する225社の上場企業の株価をもとに算出されます。

日経平均株価に採用された225社について、2016年の1年間の値動きをみると、株価が116%も上昇した会社もあれば、逆に42%も下落した会社もありました（図表参照）。投資信託に集められたお金を使って225社のうち、1社だけ、あるいは何社かだけの株式を選んで購入していれば、その投資信託の資産は大きく増えたかもしれませんが、逆に大きく減らしてしまったかもしれません。

しかし、投資信託に集められたお金を使って225社すべての株式を購入していれば、その投資信託の資産は、日経平均株価とほぼ同じ値動きをして、2016年の1年間では若干プラスのリターンを確保できたものと考えられます。

このように指数に連動する値動きを目指す運用を行う投資信託のことを**インデックス投資信託**といいます。インデックス投資信託を購入すると、幅広い投資対象に投資することでリスクを抑えて安定的なリターンを確保しやすくなるのです。

もっとも、日経平均株価が大きく下落した年もありました。今回は、日本の株式市場だけでなく、さらに投資対象を分散させる方法を説明します。

図表 日経平均採用225社の株価上昇率と日経平均株価の上昇率（2016年）

	2016年の 株価(注)上昇率
1位の会社	+116%
2位の会社	+94%
3位の会社	+69%
4位の会社	+63%
5位の会社	+63%
⋮	⋮
下から5番目の会社	-26%
下から4番目の会社	-30%
下から3番目の会社	-32%
下から2番目の会社	-35%
最下位の会社	-42%

225社の株式すべてにまんべんなく投資をしていけば…

日経平均株価
 2015年末 …19,033円71銭
 2016年末 …19,114円37銭
 2016年の上昇率 …+0.42%

(注)2015年末時点の日経平均採用銘柄の終値(分割・併合等の調整後)についての、2016年の株価上昇率順位です。2016年中に合併・株式転換が行われ上場廃止となった2社を除く223社で順位づけしています。

(出所)日本経済新聞社より大和総研作成

(次回予告：さらに幅広い対象に投資するには 10月12日(木)更新予定) 以上